

事務事業調書

平成27年度

事業No	938	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	市民参加・市民活動推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 2 市民参加・市民活動支援 2 自主的な市民活動 2 市民の活動参加の促進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	自治基本条例、市民参加条例、市民協働推進条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成21年度	経過	6年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	市民参加と協働により、自立した地域社会を実現する。	
事務事業の内容	市民参加条例（H23.4）、市民協働推進条例（H24.10）を策定し、市民参加と協働のまちづくりを進めるための事業です。市民参加は、取組状況を審議会で評価しています。また、多くの市民が市政参加できるように、人材リストを活用しています。市民協働は、市民協働推進計画（H25.3）に基づいて、スタートアップ事業（協働の人材養成事業、活動補助事業など）をはじめ、54事業を審議会で進捗状況を審議しながら進めています。さらに、市民が安心して社会活動を行えるための「ふれあい補償制度」を運用しています。					
改善・対策の履歴	【平成25年度】市民活動補助金交付団体の活動報告会を兼ねて、団体の相互連携、情報共有の場としてワールドカフェ方式で「わくわく交流会」を実施しました。 【平成26年度】市民活動補助金については、追加募集を行い9団体を対象に実施することができました。また、団体の方が申請等をしやすいように様式等を見直しました。また、市民参加推進評価会議、市民協働推進会議においては、パワーポイントを活用してわかりやすい会議運営に努めました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	8,002	18,828	20,433	15,535	17,536	
財源計	2,458	6,669	9,345	6,400	8,401	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	1,000	942	1,000
	一般財源	2,458	6,669	8,345	5,458	7,401
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	5,544 (0.88)	12,159 (1.93)	11,088 (1.76)	9,135 (1.45)	9,135 (1.45)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

### 3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	市民協働推進会議の開催	見込	4.00	6.00	4.00	3.00
			実績	3.00	4.00	3.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,370	2,511	2,142	
			活動にかかるコスト (千円)	790.00	627.75	714.00	
活動2	活動名 (活動内容)	スタートアップ事業	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	1(式)	活動の総事業費 (千円)	4,267	6,249	6,588	
			活動にかかるコスト (千円)	4,267.00	6,249.00	6,588.00	
活動3	活動名 (活動内容)	ふれあい補償制度の運用	見込	0.00	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	式(式)	活動の総事業費 (千円)	0	5,115	3,696	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	5,115.00	3,696.00	

### 4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	市民活動団体登録数(団体)		目標	320.00	320.00	320.00	320.00
			実績	334.00	354.00	358.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	320.00	達成状況	達成	達成
成果2	市民参加・協働に関するフォーラム(講演会等)への参加者数(人)		目標	30.00	30.00	50.00	50.00
			実績	80.00	65.00	62.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

### 5 成果1、2以外の成果

成果	平成25年3月に策定した市民協働推進計画に基づき、スタートアップ事業として位置づけている「協働のまちづくり人材養成講座」については、中級編を開催し、29人の受講生のうち協働サポーターとして19人を養成することができました。また、審議会等への女性登用を図るための人材バンクを見直し、広く市民参加を促進するため、約170人からなる「市民参加パートナーバンク」を設置しました。さらに、市民参加の取組状況を外部の市民参加推進評価会議で評価していただくために、市民参加の評価の仕組みを構築しました。
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	ふれあい補償制度については、更新時に見積競争を実施したことにより前年より約80万円ほど契約金額を下げることでできました。【H25:3, 224千円、H26:2, 436千円】 また、スタートアップ事業において、コストが増加したのは、市民活動補助金の対象事業が増加したことが大きな要因です。【H25:5団体、H26:9団体】市民活動団体への制度の周知が進んだものと思われます。
成果	市民活動団体登録数については、常時増減していますが、年度単位では増加しました。市民協働推進計画の取組を進めてきた結果の表れであると考えられます。 また、平成25年度から市民活動補助金の成果報告を兼ねて、団体同士の意見や情報交換の場としての「わくわく交流会」を実施しています。62人の参加を得て、協働に関するワークショップを開催しました。参加者からは、「人が集まる場と機会、団体と交流する機会が必要である」とのご意見もいただいております。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
協働をさらに進めていくためには、わくわく交流会において、参加者の意見にもあるように、「人があつまる機会、団体と交流する機会」が必要です。社会福祉協議会が福祉分野において「マッチング交流会」を開催していることから、市民活動分野においても連携して共同で実施できるよう検討していきます。また、協働サポータークラブを設立し、市のイベントやワークショップ等に参加していただき、経験をつんでいただけるような場を提供していきます。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民が市政の様々な場面に主体的に参加できるよう継続して取組んでいきます。 市民協働推進計画に基づき、市民参加と協働によるまちづくりを推進します。